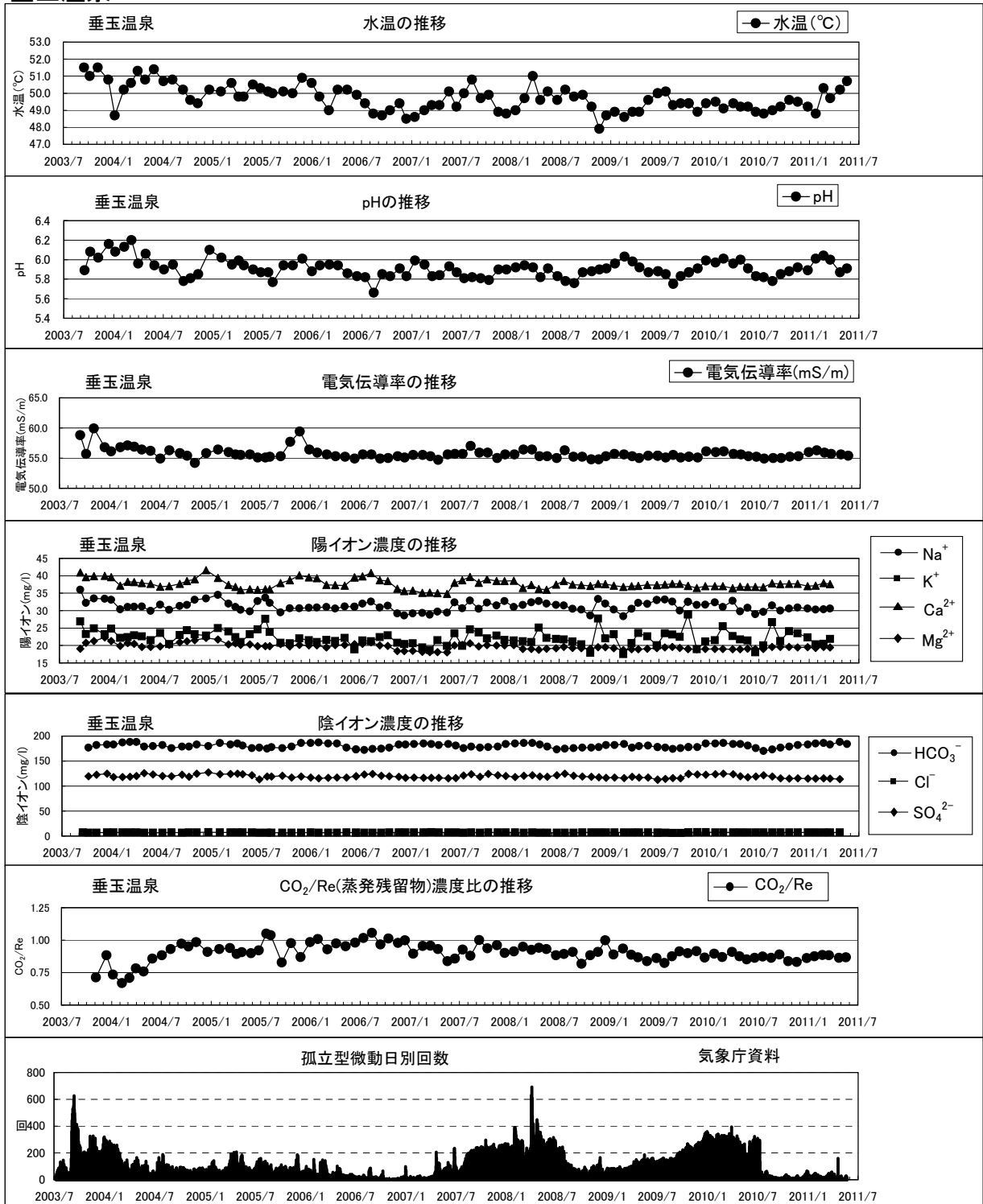


阿蘇火山における温泉観測

垂玉温泉



阿蘇垂玉温泉山口旅館(本湯)の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re(蒸発残留物)濃度比の推移(孤立型微動日別回数は気象庁資料)。源泉は、中岳火口から南西約5kmに位置している。

気象庁ほかの観測において、4月中旬から火山性微動の振幅がやや増大し、火口からの二酸化硫黄放出量も若干増加した。5月16日以降には、ごく小規模な噴火が継続して発生している。(2011年5月26日現在)

垂玉温泉においては、泉温が2月頃から上昇傾向に転じ、約2°Cの上昇を観測した。しかしながら、主要化学成分や溶存二酸化炭素相対濃度(二酸化炭素濃度/蒸発残留物濃度)には、火山活動に起因すると思われる顕著な変化は認められない。